

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

馬路村まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

高知県安芸郡馬路村

3 地域再生計画の区域

高知県安芸郡馬路村の全域

4 地域再生計画の目標

馬路村は村土の96%が森林であり、国有林野事業を中心とした林業で栄え、昭和35年（1960年）の人口は3,425人（国勢調査）であった。しかし、林業が衰退したため、ゆず加工品のブランド化には成功したものの、令和2年（2020年）3月末時点の人口は849人（住民基本台帳）となっている。馬路村の出生・死亡数の推移をみると、平成11年（1999年）は8人の自然増であったが、この年をピークに自然減に転化した。近年は、△6～△12人の自然減の傾向にあり、令和元年（2019年）は20人の自然減となった。合計特殊出生率の推移をみると、平成29年（2017年）は1.48で、平成24年（2012年）より0.07ポイント上昇した。馬路村の合計特殊出生率は、同年の高知県の数値（1.48）と同じで、同年の全国値（1.43）より0.05ポイント多い数値であるが、人口置換水準である2.1と比較すると、大幅に低い数値となる。馬路村の社会動態の推移をみると平成12年（2000年）に、転入の65人に対し、転出が54人となり、11人の社会増となった。近年では、2000年（平成12年）が社会増のピークであり、この年以降は減少の傾向に転じ、令和元年（2019年）は12人の社会減となった。

このように、近年は自然減と社会減が重なり、人口の減少が進んでいる。国立社会保障・人口問題研究所（社人研）によると、令和42年（2060年）の馬路村の総人口は229人に推計と推計されている。

このまま人口減少が進展すると、担い手不足から更なる産業の衰退がひき起こさ

れ地域経済の縮小が進んでしまう。その結果、地域の魅力・活力も損なわれ、生活サービスの維持も困難になっていくといった課題が生じる。

これらの課題を解決し、将来にわたって活力ある馬路村を実現するためには、人口減少をできる限り抑制し、一定程度の人口を維持していく必要がある。本計画では、人口維持を目指し、潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会の形成、地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保及び地域における魅力ある多様な就業の機会の創出を一体的に推進することとし、次の4つを基本目標とする。

- ・基本目標1 魅力的なしごとをつくる
- ・基本目標2 村外の人々とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる
- ・基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・基本目標4 魅力的な地域をつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	村内主要民間事業体の総 雇用者数(累計、常勤、村 外からの通勤者を含む)	0人	16人	基本目標1
イ	移住者数(累計、既存の社 会移動を除く)	0人	32人	基本目標2
ウ	出生数(累計)	0人	16人	基本目標3
エ	転出者数(累計)	0人	120人以下	基本目標4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2及び5-3のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する

特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

馬路村まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 魅力的なしごとをつくる事業

イ 村外の人々とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる事業

ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

エ 魅力的な地域をつくる事業

② 事業の内容

ア 魅力的なしごとをつくる事業

付加価値の高い商品の開発・販売により生産額を増大させ、給与の増加につなげるとともに、省力化・働き方改革により労働の負担を軽減する。

【具体的な事業】

- ・着地型旅行商品の開発
- ・馬路村ふるさとセンターの機能強化 等

イ 村外の人々とのつながりを築き、新しいひとの流れをつくる事業

馬路村に関心を持つ方々が長期滞在できる比較的安価な宿泊施設を整備するとともに、滞在機会を提供し関係人口を構築する。また、馬路村での生活に関する情報を提供することにより、理解を促進し、UIJ ターン希望者を増加させる。

【具体的な事業】

- ・長期滞在施設の整備
- ・情報発信の強化 等

ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

出会いの場を創出することにより結婚への関心を高め、経済的な支援を行うことにより結婚を促進する。また、子育てに関する支援を充実させ、安心して子育てできるようにする。

【具体的な事業】

- ・子育てに関する支援の充実
- ・結婚しやすい環境の整備 等

エ 魅力的な地域をつくる事業

村民主体の活動を促進し、自発的な取組が生まれやすくする。また、馬路村の特色を活かした教育を行うとともに、歴史・民俗遺産を維持・活用することで、教育・文化の両面において魅力的な地域にする。

【具体的な事業】

- ・村民主体の活動の促進
- ・特色のある教育
- ・歴史・民俗遺産の維持・活用 等

※ なお、詳細は第2期馬路村まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

180,000千円（2021年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

外部有識者で構成された馬路村まち・ひと・しごと創生総合戦略審査委員会を毎年度3月に開催して効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後、速やかに馬路村公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで